

去 流 動

ryudo

2026

KUMABI

Messe

KMA Kuma Museum of Art
町立久万美術館

2026年度久万美メッセ

2026
04
26
[sun]

09
03
[thu]

町立久万美術館 [主催]町立久万美術館、久万高原町

[住所]〒791-1205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2番耕地1442-7

[開館時間]9:30~17:00(入館は16:30まで)[休館日]月曜日(ただし5月4日は開館)、5月7日(木)、5月8日(金)、8月12日(水)

[観覧料]一般500(400)円、高大生400(320)円、小中生300(240)円

※()内は20名以上の団体料金。※高齢者(65歳以上)の方は半額。※障害者手帳(身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳)をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。

[出品作家] 屋宜久美子

[参加メンバー]

林 桜子 / 宇治郷 もも / 武田 京子 / 高橋 航太 / 渡邊 涼香 / 前田 清葉 / 榎 美晴 / 繁光 琉悟 / 竹中 瑞希 / 河野 亜美 / 勝間田 亜海 / 平井 晴樹 / 松本 紗絵子 / 高橋 花歩

屋宜久美子 制作風景 2023年 撮影:井川沙織

2026年度久万美メッセ

流動

町立久万美術館は、開館以来「新たな価値の創造」を軸に、社会や地域の変化、来館者との関係に応じて、展覧会のあり方を柔軟に更新してきました。美術館は固定された価値を提示する場ではなく、時代のなかで物事の意味や価値を問い直し、新たな関係性を生み出す場であるという姿勢は、近年ますます重要性を増しています。

今回テーマとする「流動」とは、価値や表現が固定されたものとして存在するのではなく、人や社会、環境との関係のなかで変化し続ける状態を指します。こうした視点のもと、当館では近年、「福祉」「時間性」「自然との関係性」といったテーマを、アートの視点から捉え直す試みを重ねてきました。本展では、愛媛大学教育学部で絵画を指導する屋宜久美子を迎え、制作と教育の双方の実践を通して、アートが社会との関係のなかで「流動」していくあり方を探ります。美術教育の場の減少や生涯学習の重要性が指摘される現在、アートが社会のなかで果たしうべき役割を改めて考える機会とします。

Message 主催者より

美術館は、新しい自分に出会う場所でもあります。アートに接することで、かつての自分から解放されて、流動しながら、変化していく。是非とも、そんな体験をしてもらいたい。常々、そう願っていますが、今回の久万美メッセのタイトルは「流動」。変化することがテーマです。

屋宜久美子さん(愛媛大学准教授)と教え子14人が共演します。水をテーマにした屋宜さんの作品に、教え子たちの多様な視点が流れながら結びついていく。流動、変化する表現が新しい何かを見出します。変わることは、学ぶこと。新たな価値観に触れて、新しい自分にたどりついてほしい。この展覧会で、美術館の役割をまた一つ果たせるかな、と期待しています。

町立久万美術館

Artist Statement 作家の言葉

水で薄く溶いた絵の具を画面上で混色する制作の中で、水の流れや動きそのものに関心を寄せてきました。画面の凹凸や傾きに影響を受けながら変化していく色や形は、筆で描くといった制作者の主体的な行為を超え、最終的には水の流れに委ねられていく。制作の手段であった水の使用はこのような過程を経て、記憶の循環、環境への適応、境界といった作品のキーワードと結びついてきました。

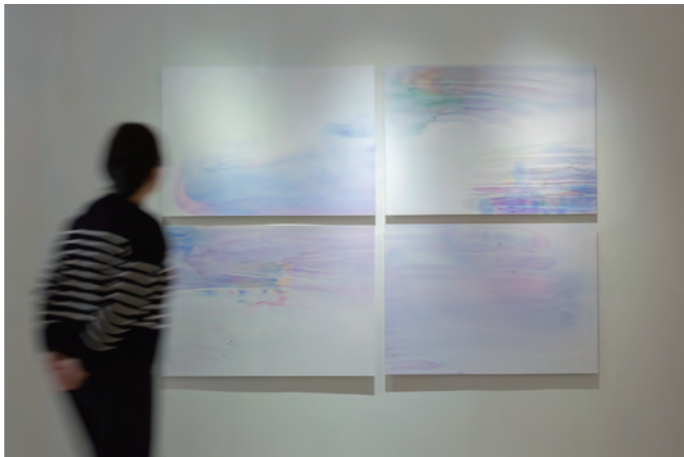
本展では、これらの作品と、美術教育に携わる14名の制作者の作品および美術館の収蔵作品が会場へ並びます。それぞれの表現が場や鑑賞者との関わりの中で、どのような流れや動きを生み出していくのかを探ります。

Profile

屋宜久美子 (やぎくみこ)



美術家。沖縄県生まれ、愛媛県在住。
2010年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。現在愛媛大学教育学部准教授。主な展覧会に「Resilience」(2024/Sugarcane Room gallery/沖縄)、「藝大コレクション展」(2023/東京藝術大学大学美術館/東京)、「サラエボ美術アカデミー50周年記念プログラム」(2022/サラエボ美術アカデミー/サラエボ)、「VOCA展」(2017/上野の森美術館/東京)などがある。



01.屋宜久美子《飛去あるいは飛来》2023年



02.屋宜久美子《アーカイブー水の痕跡ー》2025年



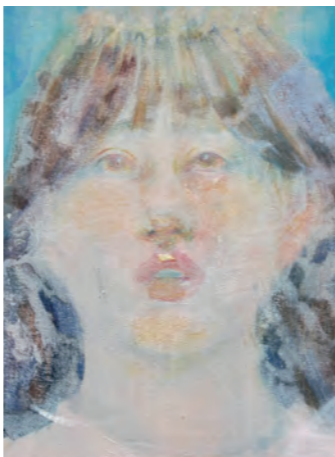
03.屋宜久美子《質量を有するすべての物体は引き合うということ》2022年



04.屋宜久美子《吸収し、調整し、構築しながら適応し、》2025年 作品部分



05.高橋花歩《上善若水》2026年 作品部分



06.前田清葉《この瞬間だけ》2026年 作品部分



07.繁光琉悟《Leave the Leaves》2026年 作品部分



08.松本紗絵子《One sheep Two sleep》2026年 作品部分



09.高橋由一《真崎の渡》1876年頃 町立久万美術館蔵



10.成川雄一《波》制作年不明 町立久万美術館蔵

Participants 参加メンバー

愛媛大学 大学院教育学研究科・教育学部所属(一部卒業生)
林 桜子 / 宇治郷 もも / 武田 京子 / 高橋 航太 / 渡邊 涼香 / 前田 清葉 / 榎 美晴 / 繁光 琉悟 / 竹中 瑞希 / 河野 亜美 / 勝間田 亜海 / 平井 晴樹 / 松本 紗絵子 / 高橋 花歩

EVENT 関連イベント

アーティストトーク

日時:5月30日(土) 15:00~16:00
登壇:屋宜久美子+参加メンバー



ワークショップ①

「植物の形を写し取ろう!」

日時:8月8日(土) 10:00~11:30
講師:屋宜久美子+参加メンバー
矢野真志(面河山岳博物館学芸員)

対象:子どもから大人まで
採取した植物の形をカーボン刷りで写し取ります。

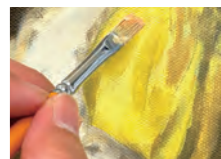


ワークショップ②

「作品と同じ技法でつくってみよう!」

日時:8月8日(土) 13:30~14:30
講師:屋宜久美子+参加メンバー
対象:子どもから大人まで

展示作品と同じ画材・技法を体験します。



学芸員トーク

日時:6月13日(土)、7月18日(土)、8月15日(土)
各14:30~15:00
講師:本田李璃子(町立久万美術館学芸員)

お盆休み特別無料開放デー

日時:8月15日(土) 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
当日はどなたでも無料でご鑑賞いただけます。

ワークショップは事前申込制です。
各イベントの詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

【アクセス】

JRバス:松山から70分
(ほぼ2時間毎、土・日・祝運休あり)。
予讃線松山駅から久万高原行「久万中学校前」下車
徒歩約10分。

車:松山市内から国道33号線で約50分、高知市内から約2時間。
松山自動車道松山ICから国道33号線を高知方面へ約30分、久万中学校前交差点を左折、県道12号線(西条久万線)を0.8km東進、右側。駐車場45台(無料)



KMA Kuma Museum of Art
町立久万美術館

町立久万美術館
〒791-1205
愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2番耕地1442-7
電話:0892-21-2881 / FAX:0892-21-1954

https://www.kumakogen.jp/site/muse/

